

## II ケーススタディ

図表II ケーススタディ一覧

No.	病院名	概要	ケースの着眼点
1 P. 11～	医療法人財団朔望会 常盤台外科病院 所在地：東京都板橋区 病床数：99床 一般病床（10対1）：99床 （うち亜急性期：25床）	昭和35年に常盤台外科病院（25床）を開院。その後、病床再編等を経て99床となる。近隣に大規模病院があることから、地域密着型医療の提供を軸とした多角化戦略を展開。介護施設や在宅事業を積極的に展開している。	地域密着の多角化戦略を展開。介護施設や在宅事業の展開を行った。平成7年以降13事業所を新設し、その管理職を内部から抜擢、病院で不足していたポストを補い、組織活性化につなげた。
2 P. 21～	医療法人社団杏順会 越川病院 所在地：東京都杉並区 病床数：34床 一般病床（7対1）：34床	昭和33年に産婦人科医院として開院。昭和51年に病院となる。平成13年に現院長が事業承継し医療法人化。診療科も内科・緩和医療に転換した。	平成13年に院長が事業承継した後、順次診療科転換を行うなど、戦略の転換を図った。
3 P. 31～	社会医療法人抱生会 丸の内病院 所在地：長野県松本市 病床数：199床 一般病床（7対1）：199床 （うち亜急性期：55床）	昭和20年に石川島芝浦タービン株式会社附属丸の内病院として開院。昭和26年に医療法人化。平成23年に社会医療法人化した。	平成19年以降、介護療養病床を廃止し、病床転換と整形外科領域を強化した。周産期・整形外科領域を中心とした専門特化・高度化方針を明確にした。
4 P. 41～	医療法人社団唱和会 明野中央病院 所在地：大分県大分市 病床数：75床 一般病床（7対1）：45床 （うち亜急性期：10床） 回復期リハビリテーション：30床	昭和49年に開院し、整形外科、リハビリを中心に地域医療を展開。平成7年以降に入職した副院長、院長（入職順）により、整形外科を中心に内科領域にも力を入れ、順次病床機能の再編を行った。	経営改善のために整形外科の手術数を増加し、内科・整形外科領域を両輪とした病床機能再編等を行った。
5 P. 51～	医療法人社団善仁会 宮崎善仁会病院 所在地：宮崎県宮崎市 病床数：106床 一般病床（7対1）：106床	昭和58年に市民の森病院を開院以来、救急医療に取り組む。平成2年に医療法人化。平成9年には「総合健診センター」を開設。平成15年に市民の森病院を分割し、外科専門の宮崎善仁会病院を開院した。	平成15年、市場分析のうえ病院を2分割し、外科専門と内科専門の病院とに分けた。分割を組織活性化の機会として救急ニーズを確実に捉えた。
6 P. 63～	特定医療法人 新生病院 所在地：長野県上高井郡 病床数：155床 一般病床（7対1）：36床 （うち亜急性期：8床） 緩和ケア病棟：20床 医療療養病床：51床 介護療養病床：8床 回復期リハビリテーション：40床	昭和7年にカナダ聖公会により新生療養所（結核療養所）として開所（50床）。昭和43年に新生病院と改称し、一般病院となる。昭和53年以降病床機能再編を行い、総病床数155床となる。昭和60年には、地域医療展開に向け宗教法人から医療法人に改組し、平成15年に特定医療法人へ移行。	平成15年の「中期運営方針」に基づき、増改築をはじめとする、地域ニーズに合わせた病床機能再編を行った。「事業組織」と「経営管理組織」を分化させる組織再編も行い、事務局機能を強化した。

No.	病院名	概要	ケースの着眼点
7 P. 75～	社会医療法人公徳会 佐藤病院 所在地：山形県南陽市 病床数：258床 精神科病棟：48床 精神科療養病棟：102床 精神科救急入院料1：60床 精神科救急入院料2：48床	昭和54年に佐藤神経科内科医院を開院。昭和57年には佐藤病院（98床）となり、昭和61年には医療法人化。平成22年に社会医療法人となる。精神科救急に取組む一方で、デイケアやグループホーム等、退院患者の在宅支援に向けた取組みも強化している。	医師の採用にあたっては「臨床、教育、研究」の三本柱を掲げ、様々な施策を行った。患者の在宅支援復帰に向けた取組みも行っている。
8 P. 85～	医療法人財団 日扇会第一病院 所在地：東京都目黒区 病床数：70床 一般病床（10対1）：30床（うち亜急性期：7床） 介護療養病床：40床	昭和24年第一診療所として発足、昭和50年に日扇会第一病院に改称。平成21年に後継者として副院長が入職し、平成22年に在宅療養支援病院となるなど在宅医療への取組みを強化している。	平成21年に院長の後継者である副院長が入職して以降、内部の組織活性化に取組み、在宅医療をさらに強化した。
9 P. 97～	医療法人社団白峰会 湖南病院 所在地：茨城県下妻市 病床数：126床 一般病床（10対1）：100床 回復期リハビリテーション：26床	昭和20年に鵜田医院を開設し、昭和32年にとき田病院（30床）へ改組。平成7年に医療法人へ組織変更し湖南病院へと改称。昭和61年事業承継により、現院長が理事長となる。整形外科を中心に地域医療に取り組んでいる。	経営改善のために、平成19年度以降にコンサルタントを活用するなどして経費削減を行った。

○出資持分のない医療法人へ移行した事例

No.	病院名	概要	ケースの着眼点
10 P. 109～	医療法人大分記念病院 所在地：大分県大分市 病床数：118床 一般病床（10対1）：84床（うち亜急性期：10床） 医療療養病床：34床	昭和55年、医師4名にて大分記念病院（48床）を開設。昭和59年に医療法人化した。平成23年3月に、出資持分を放棄し、基金制度を採用した出資持分のない医療法人へ移行した。	永続的な病院経営のために、4名の共同経営者は、出資持分の放棄を決断し、基金制度を採用した出資持分のない医療法人へ移行した。
11 P. 117～	医療法人明浩会 西大宮病院 所在地：埼玉県さいたま市 病床数：143床 一般病床（7対1）：95床 回復期リハビリテーション：48床	昭和48年に西大宮病院を開設し、昭和51年に医療法人化。平成24年に出資持分のない医療法人へ移行。現在特定医療法人の承認申請に向け準備中。	永続的な病院経営のために、出資社員が出資持分を放棄することを決断。特定医療法人の承認申請を最終的な目標に、出資持分のない医療法人へ移行した。